

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信／国内／株式

2015年10月14日

- ★当ファンドでは、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される銘柄の選別を行った結果、サービス業や化学、情報・通信業などが組入上位業種となっております。
- ★当レポートでは、組入上位業種の主要構成銘柄について、事業概要や着眼点などをご紹介します。

組入上位業種の主要構成銘柄（2015年10月9日時点）

	銘柄名	構成比率	事業概要、着眼点など
サービス業			
1	セブテーニ・ホールディングス	4.2%	インターネット広告事業を行うセブテーニを中核子会社とする純粋持株会社。主力のインターネット広告事業において、ニュース特化型アプリ等で拡大しているインフィード広告（コンテンツ間に表示される広告）の取り扱いに強みを持つ点に着目。
2	エス・エム・エス	3.4%	介護や医療を主たる事業領域とし、人材紹介やインターネットを通じた求人情報など各種サービスを提供。介護事業者向け経営支援サービスソフト「カイボケ」が、充実したサービス内容など機能面での優位性から会員事業者数を拡大させている点に着目。
3	クックパッド	2.8%	料理レシピの投稿・検索サイトを運営。スマートフォンの普及に伴い、有料会員が増加しているほか、消費者の近隣のスーパーや食料品店の特売情報を閲覧できるサービスなどを展開するなど事業領域を拡大している点に着目。
4	一休	2.6%	ホテル・旅館の宿泊予約サイト「一休.com」の運営が主力事業。高価格帯の宿泊施設を取り扱うことで、競合他社との差別化を図っている。宿泊予約サービスでの高級志向の利用者基盤を活かしたレストラン予約サービス「一休.com レストラン」の業績寄与に着目。
5	ベクトル	2.1%	企業の広報活動に対し、戦略の策定や、プレスリリースの制作・配信など各種サービスを提供。スマートフォンの普及やテクノロジーの進化などに伴い、重要性が増している動画コンテンツによるプロモーションへの取り組みに着目。

化学

1	日油	2.5%	油脂化学メーカー。油脂由来の化学品を化粧品や電子材料向けに展開。土木工事や宇宙ロケット向けの火薬も手掛ける。空調機器向け代替フロン冷媒やクロム等有害物質を含まない防錆剤など高付加価値品の拡販に着目。
2	サカタインクス	2.3%	印刷用インキの大手メーカー。段ボール印刷用フレキソインキや、缶印刷用メタルインキに強みを持つ。経済成長に伴い、生活水準が向上している東南アジア地域で、カラフルな包装需要が増加していることの恩恵を受けている点に着目。

情報・通信業

1	エムティーアイ	1.8%	音楽配信サービス「music.jp」など、スマートフォン等向けのコンテンツ開発および配信を手掛ける。ヘルスケアや生活情報などサービス分野の拡大や、携帯電話販売店でのコンテンツ販売の促進（リアルアフィリエイト）事業の業績寄与に着目。
2	デジタルガレージ	1.5%	インターネット広告代理事業や電子商取引決済サービスを展開。インターネット関連分野での投資育成事業も手掛ける。情報通信技術の発展に伴い注目が高まっている「フィンテック」（FinTech：金融とテクノロジーの融合）領域での事業機会の拡大に注目。

※構成比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン（愛称 一等星）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

運用状況 (作成基準日：2015年10月9日)

設定来の基準価額の推移

(2015年2月6日～2015年10月9日 日次)



ファンドの状況

基準価額	9,610円
純資産総額	7,998,599,476円
株式組入比率	94.9%
組入銘柄数	64銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

- ※ 左記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
- ※ 分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	30.4 %
2	化学	10.9 %
3	情報・通信業	10.0 %
4	小売業	8.7 %
5	建設業	7.7 %
6	卸売業	7.4 %
7	電気機器	5.8 %
8	輸送用機器	3.6 %
9	不動産業	3.5 %
10	医薬品	1.9 %

※ 業種、銘柄、市場別・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	セブテーニ・ホールディングス	4.2 %
2	あい ホールディングス	4.0 %
3	新明和工業	3.6 %
4	エス・エム・エス	3.4 %
5	ユアテック	3.2 %
6	クックパッド	2.8 %
7	一休	2.6 %
8	日油	2.5 %
9	トラスコ中山	2.4 %
10	山一電機	2.4 %

市場別・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	5.9 %
東証1部小型株	61.8 %
東証1部その他	1.7 %
東証2部	2.7 %
JASDAQ	15.4 %
東証マザーズ	7.3 %

※ 市場別・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
※日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。



(作成：エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客でご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
八幡証券株式会社	中国財務局長(金商)第7号	○			
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			
六和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第37号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)